

ユニークな  
地質系博物館  
(6)

## 沼田の大理石村

石原舜三<sup>1)</sup>・佐藤興平<sup>2)</sup>

様々に加工された大理石を見ることができると大理石村(英名は Stone Academy)が群馬県は沼田から西方へ7 km, 草津温泉へぬける国道145号線沿いに、輦サンボウによって建設、運営されている。ここは次の4点セットがある点で非常にユニークであり、そのために大理石村と称されている。

まず、道に面して大理石の加工工場がある(写真1)。ここでは一般の建築用石材が加工されており、加工風景が遠望できる。完成商品の展示室もある。同じ並びに第二の目玉、トラパーチンに包まれたおみやげ店(写真2)

があり、石彫(写真3)から指輪に至る多数の石の工芸品が販売されている(写真4)。付属として中国産の安山岩で造られたパスタの店 Ristrante Romano がある。

おみやげ店から中庭をつき切ると第三の目玉、資料館がある(写真5)。ここでは沼田出身の地質学者木村達朗氏の指導によって、化石系と鉱物系に二分した展示がなされ(写真6, 7)、また48ページの小冊子が展示資料解説と郷土、利根の紹介を兼ねて作られている。

第四の目玉は林の中に建てられた大理石の家である(写真8)。リゾート需要が高まるなか、高級別荘の試作

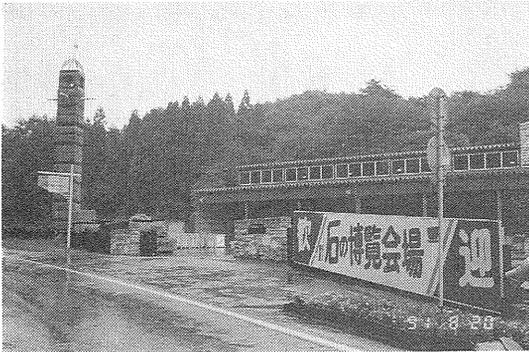


写真1 国道145号線に面した大理石村の石材工場とスピリットタワー(左)



写真3 大理石製の彫刻, 灯籠など



写真2 トラパーチンの外壁を持つおみやげ店



写真4 みやげ店内の小物陳列

1) 工業技術院, 2) 地質ニュース編集委員会



写真 5 資料館入口

品と言えよう。

大理石村は以上のように古典的な地質標本館と言うよりは、新しいタイプの展示場であり、全体の設定が非常に明るい。近くをドライブされる読者には一見されることをおすすめする。難を言えば資料館が小さいことが挙げられよう。大理石別荘の内部利用などによって、展示資料の拡充を期待したい。また現在世界各地から輸入、利用されている石材の展示、解説もあれば、全体がさらに充実するものと思われる。

場所：377-07 群馬県吾妻郡高山村中山  
5583-1 ㈲サンボウアート大理石村  
☎0279-63-3515

営業時間：9：00-17：00 定休日：火曜日

資料館入場料：大人300円、小人150円。

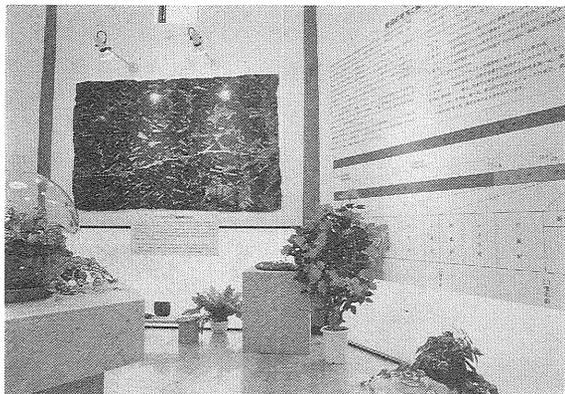


写真 6 (上) 資料館内部。オーソセラスの巨大な化石板を中心にした地質時代の解説

写真 7 (下) 地球の植物群の歴史をたどる展示室

ISHIHARA Shunso and SATO Kohei (1991): Marble Museum at Numata, Gunma Prefecture.

<受付：1991年9月9日>

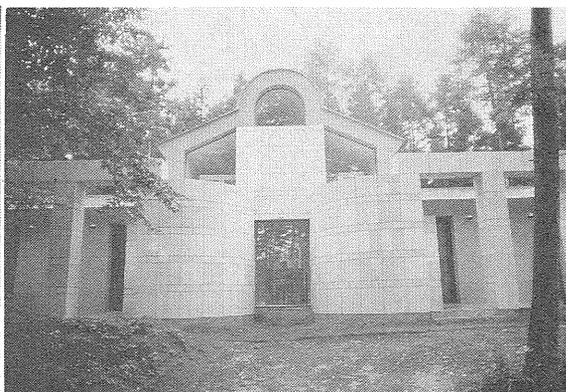


写真 8 大理石の別荘